

5. 2 チェックバルブの交換

ポンプ部のチェックバルブを洗浄しても脈動や圧力変動が大きい場合にはチェックバルブを交換してください。

【用意するもの】

吐出側チェックバルブ	(品番：0022012)	必要数
吸引側チェックバルブ	(品番：0022011)	必要数
両口スパナ 8×10 mm	(品番：-----)	1個 付属品
両口スパナ 12×14 mm	(品番：-----)	1個 付属品
オシネユ オン	(品番：0007337)	2個
ハンディコネクタ	(品番：0016566)	2個
純水またはエタノール		適量
溶媒瓶		1個
抵抗管	(品番：0005319)	1個

【手順】

- ① ポンプ部の送液を停止します。
- ② カラムが取り付けられている場合は取り外し、抵抗管を取り付けます。
- ③ 系内の溶媒を純水またはエタノールに置換します。
- ④ ストップバルブを閉じます。(「2.6 ストップバルブ」参照)
- ⑤ 両口スパナを用いて、チェックバルブに接続された配管を外します。
- ⑥ 両口スパナを用いて、チェックバルブをポンプヘッドから取り外します。
- ⑦ 両口スパナを用いて、新しいチェックバルブをポンプヘッドに取り付けます。
- ⑧ 両口スパナを用いて、配管を取り付けます。
- ⑨ パージを実行し、系内の純水またはエタノールを測定用溶媒に置換します。
この時、配管接続部に漏れがないことを確認します。(「2.7 パージ機能」参照)



系内の溶媒置換では溶媒の混和性を事前に確認してください。



パージを実行すると、ストップバルブが自動で開きます。